

11・22・13—AV型 エアーベント

取扱説明書

この度はヨシタケ製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
お求めの製品を正しく安全にご使用して頂くために、ご使用になる前に必ず本文をお読み下さい。又、この書類は、ご使用されるお客様にて大切に保存して頂きますようお願い致します。

————本書の中で使用されている記号は以下のようになっています。————

△警告

取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合。

△注意

取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

目 次

1. 特長	1
2. 仕様及び性能	1
3. 寸法及び質量	2
4. 作動説明	3
5. 設置及び運転要領	
5.1 配管図例	3
5.2 設置時の注意事項	4
5.3 運転時の警告・注意事項	4
6. 保守要領	
6.1 故障と対策	4
6.2 分解・点検時の警告・注意事項	4
アフターサービスについて	

YOSHITAKE

1. 特長

- (1) 小型・軽量に設計され取付けが簡単です。
- (2) フリーフローティングレバー方式の採用によりレバー部の磨耗が少なく、弁体、弁座に焼入れクローム鋼を使用していますから、耐久性に優れたメンテナンスフリーです。

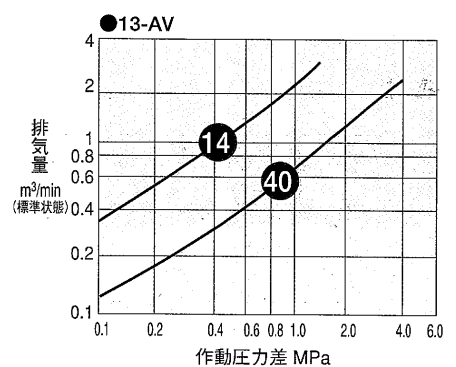
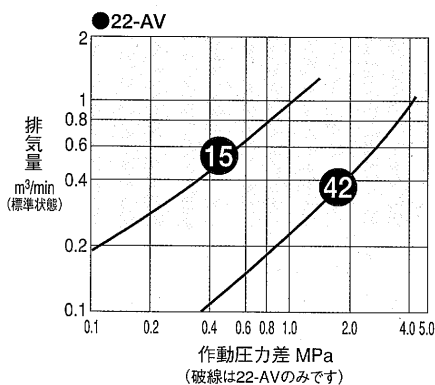
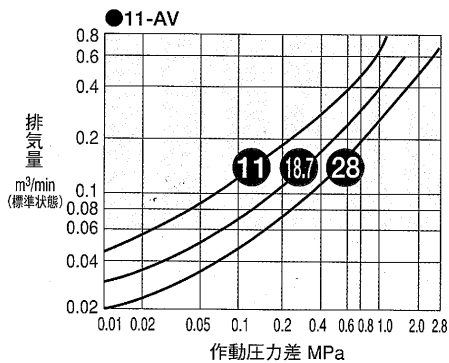
2. 仕様及び性能

型 式	11-AV-11 ^{※1}	11-AV-18.7 ^{※1}	11-AV-28	22-AV-15	22-AV-42	13-AV-14	13-AV-40
呼び径	入口:20A 出口:15A			20A		25A	
適用流体	冷温水・油・その他非腐食性流体						
最高圧力	1.1MPa	1.87MPa	2.8MPa	1.5MPa	4.2MPa	1.4MPa	4.0MPa
最高温度	260 °C ^{※2}						
材 質	本体	ステンレス鋼					
	弁体・弁座	ステンレス鋼(焼入れクローム鋼)					
	フロート	ステンレス鋼					
接 続	JIS Rc						

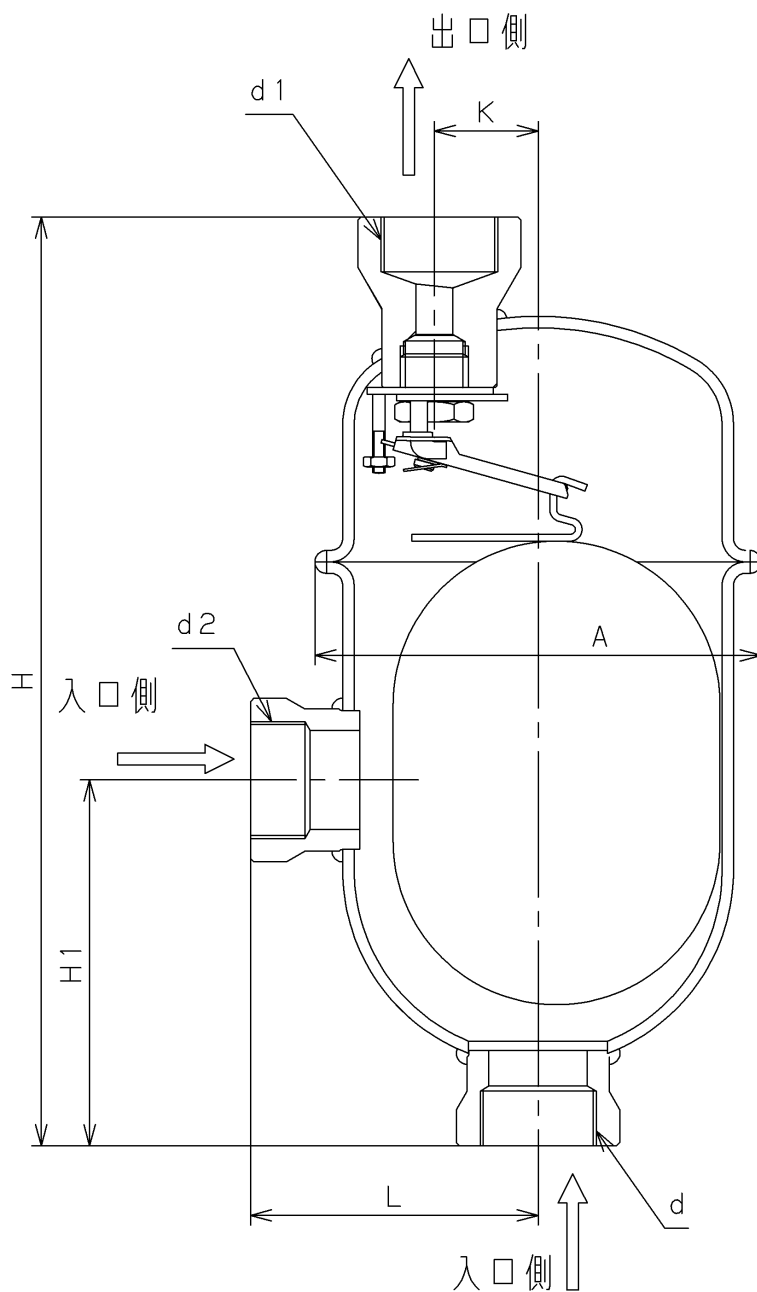
※1 水道法基準適合品もございます(適用流体は、冷温水になります)。

※2 レーティングにより異なります。

排出量図表



3. 寸法及び質量



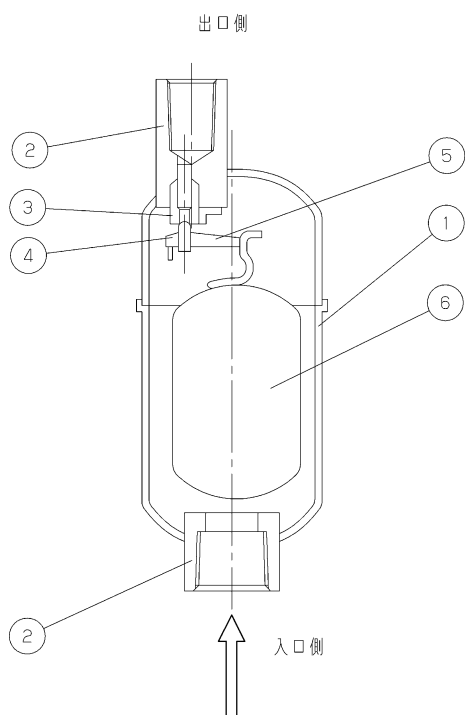
(mm)

型式	Size	d	d1	d2	A	H	H1	L	K	Weight(kg)
11-AV	20A	Rc 3/4	Rc 1/2	—	70	184	—	—	14	0.8
22-AV	20A	Rc 3/4	Rc 3/4	Rc 3/4	97	224	76	67	24	1.5
13-AV	25A	Rc 1	Rc 1	Rc 1	114	289	155	83	30	3.4

4. 作動説明

- (1) 取付け当初は、製品内には気体が入っており、フロート⑥は自重にて下がっているため、レバー⑤を介して弁体④が開いています。気体はシステム内の圧力により外に排出されます。
- (2) 気体が排出されると、液体が製品内に入ってきますので、フロート⑥は浮力を得て浮き上がり、レバー⑤を介して弁体は閉じます。
- (3) 製品内に気泡が集積されると、液面が下がりフロートの浮力が小さくなり、弁体④が開き気体を排出します。
- (4) 以後(2)と(3)の作動を繰り返し行なうことにより、気体を排出することができます。

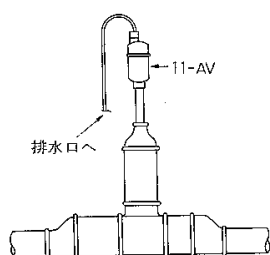
構造図(11-AV)



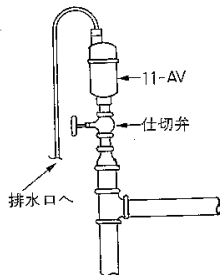
符号	部品名
1	本体
2	接続継手
3	弁座
4	弁体
5	レバー
6	フロート

5. 設置及び運転要領

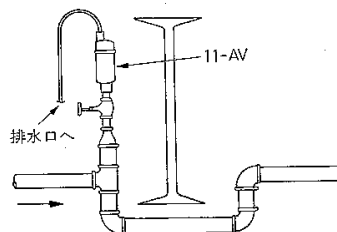
5.1 配管図例



配管途中取付例



高所取付例



ループライン取付例

5.2 設置時の注意事項

△注意

- (1) 製品は空気の溜まりやすい箇所に垂直に取付けて下さい。
※製品の機能が果たされません。
 - (2) 製品を配管する際、配管内の異物、スケール等を必ず除去して下さい。
※製品内に異物・スケール等が混入しますと本来の性能が活かされません。
 - (3) 万一水漏れが生じた場合のために、出口側を安全な場所へ配管して下さい。
※周辺を汚すおそれがあります。
 - (4) 保守・点検の容易なスペースを十分に確保できる場所に取り付けて下さい。
- (1) ウォーターハンマ等による異常高圧を受けない個所に取り付けて下さい。

5.3 運転時の警告・注意事項

△警告

高温流体の場合は、素手で直接製品に触れないようにして下さい。
※やけどをする危険があります。

△注意

- (1) 適用圧力範囲外、又は最高使用温度を超えて使用しないで下さい。
※製品の破損や排気不良の原因になります。

6 保守要領

6.1 故障と対策

故障状況	故障原因	対策及び処置
水漏れが生じる	1. 弁体と弁座部にゴミ等の異物が付着している。	1. 製品を配管から取外し、製品出口側より水を流し込む又は、圧縮空気を吹込んでフラッシングして掃除します。
空気を排出しない。	1. 空気の溜りが悪い。 2. 管内圧力が最高圧力以上にある。	1. 空気の溜り易いところに取り付けます。 2. 管内圧力を下げるか又は、高圧用のものに交換します。

6.2 点検時の警告・注意事項

△注意

- (1) 製品の機能・性能を維持するため、日常点検、定期点検を実施して下さい。
※異常がある場合は、専門の業者に処置を依頼して下さい。
- (2) 長期休止した場合は、再運転前に作動点検を実施して下さい。
※異常がある場合は、専門の業者に処置を依頼して下さい。

※本製品は、分解することは、できません。

アフターサービスについて

1. 納入品の保証範囲及び保証期間

納入された製品は高度の技術と厳しい品質管理の基で製造いたしております。取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従って正しくご使用ください。万一材料または製造上の不具合がありました場合には、無料で修理させていただきます。

納入品の保証期間は、ユーザー様に納入し試運転開始後1ヶ年とさせていただきます。

2. 製造中止後の部品の供給について

製品は予告なく製造中止、改良を行うことがございます。製造中止した製品の部品の供給は、中止後5年間とします。但し、個別契約に基づく場合は除きます。

3. 保証期間内でも次の場合には、有料修理になります。

(1)配管内のゴミ等による弁漏れ、または不安定作動が起こる場合。

(2)不当な取扱い、または使用による場合。

(3)消耗のなはだしい部品などで、弊社から予めその旨申し出を行っている場合。

(4)異常水圧、異常水質等の供給側の事情による場合。

(5)水垢もしくは凍結に起因する場合。

(6)電源、空気源に起因する場合。

(7)弊社以外の不適當な改造がされた場合。

(8)設計仕様条件を超えた過酷な環境下(たとえば屋外使用による腐食の場合など)での使用による場合。

(9)火災、水害、地震、落雷その他天災地変による場合。

(10)消耗部品(たとえばテクニカルガイドブックに記載されているOリング、ガスケット、ダイヤフラムなど)

ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので納入品の故障や瑕疵により誘発される損害については、含まれませんのでご了承ください。

4. 保証期間経過後、修理を依頼されるとき

修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理します。なお、アフターサービスについては、弊社ホームページ(www.yoshitake.co.jp)のサポート&サービスからお問い合わせ窓口一覧より最寄りの営業所までご相談ください。